



無理せず、ゆっくり。
まずは、お家のこと。

添地町の路地裏、某ファーストフード店の倉庫だった物件をリノベーションした生活雑貨店、hal。オープンの際取り替えたのは照明だけ、壁も床も他はそのまま、何も手を加えていないという。置くもので空間づくりをしていくというのが、店主の後藤さん流だ。東京の雑貨店で働いた後、沼津に戻って結婚した後藤さんは、食べることが大好き。二人の子どもとの子育てをしながら、いつか食堂をやろうと考えていた。しかし、子どもが病気

で寝込んだときに、ふと「こういう時お店を休んでしまうと食材が傷んじやうな…」と思った。でも…器なら大丈夫だ！ 食べることに関係ある器も好きだったので、雑貨店をやろうと方向転換。その日のうちに不動産屋を電話帳で調べ、物件情報を取り寄せたという。とにかく、お店を始めるのに家に迷惑がかからないようにと、とりあえず半年だけやってみよう、という感じだったので、什器もすぐにばらせる簡単なもの、さらに、売れ

店主・後藤さんの本！

お店の宣伝になれば、と始めた雑誌の仕事。そこからつながるご縁も。



日々、変わらずここにいます

残っても困らない生活雑貨だけという品揃えだった。品数も少ないので、商品の中に私物をディスプレイしてみたり…。それから、前職でつながりのあった作家さんの作品など、少しづつ品数を増やしていく。でも、あくまで本業は妻でありお母さん。家族も大事だから、営業時間や定休日もそれに合わせて設定している。東京から沼津に帰ってきて、やはりここは環境が最高だと再認識した。ゆっくりだけど、とても住みやすいと、後藤さ

んは言う。「これからお店を大きくしようとか、手を加えていこうとかは思わない。今のまま、変わらずずっと続けられることが一番です。」オープンから14年目のhalは、この場所になくてはならない日常の風景の一部となっている。

	hal
沼津市添地町124 TEL 055-963-2556 http://hal2003.net 10:30 ~ 16:00 定休日：水曜	

